

## 月：中国暦でみる月とは

中国暦で月を考えると1年は12ヶ月または13ヶ月の太陰月から成りたち、太陰月の始まりは新月の日になります。新月とは月が地球と太陽の間を通り、夕暮れ時に見えるか見えないかの細い三日月のことをいいます。

満月は太陰月の15日目で、短い太陰月は29日・長い太陰月は30日となります。地球から見て、月が新月から満月そして新月になるまでの一サイクルが約29.5日あることがわかります。

陰暦を使用する時、月の面相を知っておくと理解しやすいでしょう。1日目は新月、2日目から14日目にかけて月は満ちていき、そして15日目に満月となります。16日目から29日目また30日目にかけて月は欠けています。

閏月は19年間に7回加えられます。これは暦が実際の季節とずれるのを防ぐために加えられます。太陽暦の出来事（二十四節気）は常に太陰暦の特定の時に起こります。例えば、冬至は11番目の太陰月になります。閏月が加えられることによって、夏至、冬至、春分、秋分、そして新年などが正しい時間の中に収まるのです。

### 節気 (The 24 Solar Terms) Jie qi

